

# 1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	奈義町立奈義小学校	実践者名	高元 雪企
教科	体育	学年	第3学年
活用内容	撮影(動画)、情報共有 相互にコメント	実践日	令和3年10月12日(火)
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage1
単元・内容等	きかい運動ーマット運動ー		

## 活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

### 【前時まで】

バランスなど基本の技や発展の技の行い方を知り、技ができるように練習をする。その際、自分の動きや課題を把握するために、タブレットで撮影をする。

(児童が練習した技) 前転・後転・開脚前転・開脚後転・頭倒立・側方倒立回転

### 【本時】

- (1) 準備体操
- (2) 前時までに撮影した動画を各自で確認をして、自分の課題を把握する。
- (3) グループで動画を一緒に見て、課題の改善方法について話し合う。
- (4) 課題を改善するために、練習をする。
- (5) 動画を見ながら、練習してきた技を組み合わせ、連続技を考える。
- (6) 自分の考えた連続技を練習し、グループで撮影をし合う。
- (7) 学習のまとめと振り返りを行う。



### 実践者の手ごたえ

操作方法は、体育の時間外で確認していたので、本時は操作面に時間をとられることなく、児童の運動量を確保することができた。動画で自分の動きを確認することで、自分の課題を認識し、改善しようと練習に取り組む姿が見られた。また、動画を見ながら友達同士でアドバイスをし合うことができていた。

### 児童生徒・保護者等の主な反応や声

(児童から)  
「自分がどんな動きをしているか、分かりやすい。」「動画を見て、どこを直したらいいかわかるし、練習もしやすい。」「友だちと一緒に動画を見て、アドバイスをもらえるからいい。」